

大津東小 十人十色

平成31年3月22日

第21号

大津町立大津東小学校
校長 松原 弘治

「平成30年度卒業式」～8名の子どもたちが立派に巣立って行きました。～

一昨日（3月20日）、平成30年度の卒業証書授与式を行い、8名の卒業生が大津中学校へ立派に巣立って行きました。

私は大変残念ながら、卒業生とは2年間という短い関わりでしたが、縦割り班活動をはじめ、下級生をととてもよくリードしてくれるなど、最上級生として様々な素晴らしい姿をたくさん見せてくれました。

その中でも大変印象深かったのは、運動会で見せた最後まで全力で頑張りぬく姿でした。牛舞いによる雨乞いのためか、しだいに



卒業証書を手にした喜びを親子で分かち合いました。

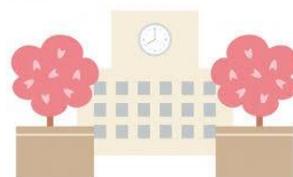
別の不合理さを、すばらしい演劇を通して、しっかりと伝えてくれました。

中学校でも、十人十色の輝きを大いに発揮してほしいと願っています。応援しています。

本校教育へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

先日の卒業式をはじめ、子どもたち一人一人が主役となる様々な教育活動は、本校の素晴らしい魅力であると思っています。

次年度は、小規模特認校制度を活用した複式学級解消を目指して、保護者や地域の皆様と、さらに連携を図った教育活動を進めて参りたいと思います。よろしくご支援をお願いいたします。



平成30年度末で、1037名の卒業生が巣立ちました。

雨足が強くなったため、組み体操を途中で中断せざるを得なくなり、場所を移動して体育館で行いました。しかしながら、組み体操を演じる6年生の意気込みは途切れることなく、最後のタワーまで見事に作り上げました。その堂々とした頼もしい姿は、観る人に大きな感動を与えてくれました。

また、学習発表会では、長崎で学んだ被爆者の方の体験談をもとに、シナリオや小道具もすべて手作りで準備し、戦争の悲惨さや差別の不合理さを、すばらしい演劇を通して、しっかりと伝えてくれました。